

日光移動教室の感想

～5年生・6年生～

9月7日（月）から9日（水）まで、5・6年生は日光移動教室に行きました。
5・6年生で協力して活動し、よい思い出を作ることができました。

今回の日光移動教室で学んだことは自然が大切だということと、みんなをまとめるたいへんさと、日光の歴史です。その中で特に思い出に残っているのはみんなをまとめることのたいへんさです。自分のことをやりながら、班長の仕事もやるのはとても大変でした。しかし、班のみんながふとんをしいてくれていたのがとてもうれしかったです。学んだことはこれからの学校生活に生かしていきたいです。

（6年1組 高橋 奏真）

この日光移動教室で学び、感じた3日間。その中で考えた5つのこと。その中で一番身をもって感じたことは2つあります。それは、「日本文化を見たり、感じたりすることの大切さ」、「責任を果たすことの大変さ」です。私は、今年の夏休みの自由研究で日本の伝統文化「歌舞伎」を体験したり、移動教室で日本の重要な建造物「日光東照宮」を見たりして、様々な日本文化に心も体もふれました。今、この時に、だれかが忘れかけているかもしれない日本文化。これは、日本には欠かせない存在だと思います。これからも見たり体験したりして、日本文化の知識を深めていきたいと思います。

また、「責任を果たすこと」については、たとえだれもそのことを知らなくてもいい。しかし、それがだれかの役に立つことなのであれば、「責任」を感じ、最後まで自分の使命を果たしていきたいと思いました。

（6年2組 瀬戸 もえ）

バスでの移動中、いろは坂で野生のサルを見ました。バスガイドさんが言っていたように、いろは坂の下りにはたくさんのサルがいました。また、ナイトハイクでは、暗闇の中に目の光った鹿を見つけて、東京では味わうことのできない自然を感じることができました。

移動教室で一番心に残ったのは、友達と過ごした時間です。部屋で遊んだり、バスの中でおしゃべりしたりしたことがとても楽しかったです。私は友達を作るのが苦手でしたが、友達との共通点をたくさん見つけて、仲良くなれたのでよかったです。

（5年1組 佐々 なお美）

日光移動教室で一番楽しかったことは、最後の日に行った日光彫り体験です。日光のORIGINALの彫刻刀で彫りました。三猿が台に乗っている絵を彫りました。日光彫りを教えてくださる方が「最初は台から彫ったほうがいいよ。」と教えてくれました。さるの頭はカーブが多いからたいへんでした。カーブが慣れてくるとさるの足などが簡単に彫れました。最後までやるのが疲れたけれど、日光でしかできない彫刻刀で彫れたのでとてもいい思い出ができました。出来上がったお盆は家に飾ってあります。

（5年2組 山内 夏澄）



日光彫り体験

竜頭の滝



夕食の様子

足湯

